

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
東部地区

平成24年12月

埼玉県飯能市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	東飯能駅へのアクセス時間の短縮	分	8	4	5	確定 見込み ●	△	あり ● なし	3	H24年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	幹線道路の整備に効果があったと評価できる。
指標2	居住環境に対する満足度	%	50	70	70	確定 見込み ●	○	あり なし	61	H24年11月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	生活道路の一層の整備が求められている。
指標3	学習施設の利用者数	人/年	0	20,000	30,629	確定 見込み ●	○	あり なし	30,109	H24年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	貸館事業の件数の増加が利用者数増加に寄与した。
指標4	地元材を利用した住宅建設戸数	戸	20	120	81	確定 見込み ●	△	あり なし ●	95	H24年8月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	西川材まちづくりマップ等が地元材への関心と需要の喚起につながったと評価できる。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	西川材の認知度	%	77	/	93	確定 見込み ●	/	/	91	H24年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	施設整備への活用やPR等により、認知度や理解が広がったと評価できる。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	住宅や商業的施設等の立地を促すとともに、公園や幹線道路などの整備を行い市街地としての魅力を生み出していく。	・阿須小久保線、双柳岩沢線、主な区画道路等、幹線道路の整備を進めた。 ・踏切の改良、整備を行った。	・事業進捗により、専用住宅の建設が増加するとともに、保留地販売も促進された。	・道路整備の進捗率向上と平行して、下水道整備や公園整備が課題。
	西川材の認知度のさらなる向上を図り、利用の促進を図る。	・森林文化サミットを開催した。 ・西川材使用住宅等補助金制度を継続し、制度内容を拡充した。	・西川材の認知度の向上に役立った。	・西川材の特徴等について、きめの細かなPRを行い、他材との差別化やランク付けを図っていくことが課題。
	地域の文化等に対する住民の意識向上。	・公民館において、郷土史、地域の文化等について講座や教室を開催した。 ・市民活動センターをオープンした。 ・市民会館において、第九演奏会(合唱付き)、お囃子フェスティバルを行った。	・地域を知ることによる様々な文化とのふれあいが可能になった。 ・地域住民の活動の場の拡充を図った。 ・住民が直接参加することや他の地域との交流により、意識改革に役立った。	・地域の文化の担い手、継承者の育成が課題。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地元材の認知度の向上を具体のまちづくりに活かす取り組みが課題として残された。	・新図書館、総合保育施設、避難住宅等に西川材を採用した。 ・公共施設での活用を図るとともに、各種イベント時においてPRを行った。	・公共・公益施設において具体的な活用を図ることで、認知度の向上に役立った。	・一層の需要拡大等による競争力の強化が課題。 ・柱や床に加え、木塀の素材として街並づくりに活用できないか検討が必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・生活道路の改良による安全、安心なまちづくりの推進	狭隘道路の解消を進めていくことで、利便性だけでなく、地域の防災性や安全性の向上を図っていく。	H25年度～	整備改良を優先すべき道路の抽出と地域間の公平性の維持。

都市再生整備計画(精算報告)

東部地区

埼玉県 飯能市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	飯能市	地区名	飯能市東部地区	面積	242 ha
-------	-----	------	-----	-----	---------	----	--------

計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度
------	---------------------	------	---------------------

基幹事

目標 『 歴史・文化・自然 そして人が織り成すまちづくり 』

- 目標1: 地域資源を活用した文化性の高いまちづくりを推進する。
- 目標2: 道路整備や住宅基盤整備の推進により交通安全性の向上やアクセス時間の短縮、及び防災機能の強化を図る。
- 目標3: 良好な住環境の整備を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は第3次総合振興計画において「緑と清流に映えひとの心がかやう都市」を将来像に掲げ、豊かな自然と共生するまちづくりに取り組んでいる。また、平成17年1月1日の名栗村との合併により市域の約7割が森林という特性をもった自治体となり、環境省のエコツーリズムモデル地区にも認定されたことから、今まで以上に特色のあるまちづくりが求められている。
- 本地区は市の南東部に位置し、都心に最も近いことや鉄道等の公共交通が整備されていることから、市内で最も市街地の波を受けている地区である。そのため良好な市街地を維持していくための基盤整備が急務となっている。なお、区画整理事業の計画見直し等を基盤整備と並行して行うことにより、整備期間の短縮を図っていく。
- 本地区は先に述べた第3次総合振興計画において、「道路、公園、上下水道などの都市基盤施設が整備された快適な市街地の形成を図る地区」に位置づけられている。また、策定時に実施した住民意識調査においては、本地区の不満要素として「歩行者・自転車の交通安全対策」「道路整備・道路混雑度」「文化施設」、整備要素として「身近な生活道路」が上位に挙げられている。
- 当地区はその7割以上の面積について土地区画整理事業による都市基盤の整備を進めているが、その整備が遅れていることから狭隘な道路の解消や避難先の公園整備等が進んでいないため、中心市街地としては特に防災機能が脆弱である。

課題

- 少子高齢化時代の到来とともに減少傾向である当市の人口に歯止めをかけるためにも、市の中心市街地であり住宅密集地である当地区の住環境整備を優先して行う必要がある。
- 安価な外材の流入や後継者不足により衰退してしまった地元林業について、再度その魅力をアピールすることによって荒廃しつつある山林の復興と林業の活性化を図り、当市の特色である自然と共生したまちづくりを強力に推進する必要がある。
- 良好な市街地を維持するため、道路、公園等の早急な基盤整備や、事業期間短縮のための区画整理事業計画の見直しを並行して進める必要がある。
- 本地区は市内において唯一文化施設が整備されていない地区であり、住民の要望も高いため、早急に対応する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

地域資源を活かした安全で快適な住宅地の形成

- 調和のとれた総合的な土地利用の推進
- 便利で快適な生活基盤の整備の推進
- 生涯を通じて学ぶ姿勢と市民文化の確立

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
東飯能駅へのアクセス時間の短縮	分	実測による	地区内の渋滞緩和状況と利便性の向上を示す	8	平成17年度	4	平成22年度
居住環境に対する満足度	%	地区内及びその周辺地区における居住環境に対する住民の満足度	当地区の魅力がどの程度向上したかを示す	50	平成17年度	70	平成22年度
学習施設の利用者数	人/年	施設利用者の統計による	文化施設を整備することにより、地域交流の促進及び地域資源のPR活動を推進する	0	平成17年度	20,000	平成22年度
地元材を利用した住宅建設戸数	戸	飯能市農林課の統計による	地元材の魅力がどの程度向上したかを示す	20	平成17年度	120	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 地域資源の活用と文化性の高いまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のための文化施設を整備し地域交流を促進する。 ・地域に密着した生涯学習推進のため、積極的な情報提供(文化財マップ等)を行う。 ・地域資源(西川材利用まちづくりマップ等)のPR活動を推進する。 	<p>提案事業 (仮称)双柳地域学習センター建設 提案事業 西川材普及印刷物(西川材利用まちづくりマップ)作成 提案事業 文化財普及印刷物(文化財地図及び小冊子)作成</p>
<p>整備方針2: 交通安全面及び防災面の機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通環境の改善策として、幅員18メートル、両側歩道の都市計画道路を整備することにより、交通安全面の機能向上を図る。 ・老朽家屋の建替えを進めることにより、防災性の向上を図る。 	<p>基幹事業 (道路 3・4・1 東飯能駅東口駅前通り線) 基幹事業 (道路 3・4・2 阿須小久保線) 基幹事業 (土地区画整理事業 笠縫地区) 基幹事業 (土地区画整理事業 双柳南部地区) 基幹事業 (土地区画整理事業 岩沢北部地区) 基幹事業 (土地区画整理事業 岩沢南部地区)</p>
<p>整備方針3: 良好な住環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業による基盤整備を推進し、良好な住環境の創出を図る。 	<p>基幹事業 (土地区画整理事業 笠縫地区) 基幹事業 (土地区画整理事業 双柳南部地区) 基幹事業 (土地区画整理事業 岩沢北部地区) 基幹事業 (土地区画整理事業 岩沢南部地区)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源を活用したすまい環境づくり ～西川材の活用～ 土地区画整理事業地内の工事における街灯やモニュメント、舗装等への利用方策(間伐材を含めた)の検討を行っていく。 ○ 地域文化の趣旨普及 文化財マップや小冊子(飯能の指定文化財)を使用した学習会等の開催を計画推進していく。 	

